

## 令和5年度旭川未来会議2030 ものづくり分野 第3回分野別会議 会議録

- 1 **開催日時** 令和5年9月5日（火） 午後6時から午後8時まで
- 2 **開催場所** デザインギャラリー（旭川市宮下通11丁目）
- 3 **出席者（参加者）** ※敬称略，五十音順  
大柳 誠，岡崎 茜，小沼 隆礼，佐藤 公哉，張江 幸智，星野 智哉，松島 育子
- 4 **出席者（市側）**  
(運営事務局)  
産業振興課 住吉課長，後藤主幹，茂木課長補佐，村田  
(統括事務局)  
広報広聴課 乙坂広聴係主査
- 5 **会議の公開・非公開** 公開
- 6 **傍聴者** なし

### 7 意見交換

議題「『愛される食』について」

(進行役)

- ・ 今までの振り返り
- ・ 買物公園で買物できないのが課題という意見があった  
→ 「食のストリート」で食を中心とした新しい買物公園のカタチを形成してはどうか  
「買物公園を道北の食のストリート」
- ・ 食べマルシェが日常化
- ・ 北海道だけでなく，日本中，世界中から食材が集まる場所
- ・ エリアごとにカテゴリ分け

#### 買物公園に人が集まる仕組み

(参加者)

- ・ 通行人に対して見せる食べ方。
- ・ 通りの中央に，外から見えるように透明な食べる場所を作る。中央を遊べる・楽しむスペースにする。

(参加者)

- ・ 買物公園に来た人に特典をつける。
- ・ 行った場所で食の楽しみ，駐車場無料のサービスなど。

(参加者)

- ・ 無料バス，シャトルバスで買物公園に行ける。
- ・ 運転代行の金額をサービスする居酒屋。

(参加者)

- ・ 昔は中高生が買物公園にたくさんいた。
- ・ もう一回，若者にささる場所ができればいい。

(参加者)

- ・ 若者はなるべくお金を使わない方法で楽しんでいる。
- ・ 経済効果を狙うターゲットの明確化。

(参加者)

- ・ 若い世代も，自分の好きなものにお金を使う傾向がある。
- ・ 普段は節約して，イベントなどでグッズを大量に購入している。

(参加者)

- ・ スイーツパラダイス（スイパラ）。
- ・ 新商品を試すことができるなど，出店側も消費者側もウインウインの関係が生まれる。
- ・ 学生特典などをつけると若い子も来てくれる。

(進行役)

- ・ 地元のちょっとしたものをサービスできる仕組み。
- ・ 数がなくても何かで生産者に還元できる仕組み。

(参加者)

- ・ 空き店舗をうまく活用する。
- ・ 買物公園のフリーWi-Fiの整備。

(参加者)

- ・ 市職員の昼休みを60分に。買物公園でランチする時間ができ経済効果に。

### 買物公園のフードエリアを考える

野菜エリア，ラーメンエリア，お弁当エリアなど・・・

- ・ 野菜は重いので交通の便が良いところに集める。
- ・ 野菜エリアで野菜の栽培や収穫体験ができるとにぎわう。
- ・ 季節のエリアは，旬の野菜が販売，季節の行事食が楽しめるエリア。
- ・ 季節の野菜を使ったお弁当の販売 など

### 愛される食の伝承

- ・ 活気あるまちが戻ってくることで、Z世代に伝わっていく。
- ・ まちなかでお金を使って楽しめるように。
- ・ 旭川の食の大切さ、食への感謝を伝える。  
→ 食を中心に、横断的に関連産業や人がつながってまちづくりに発展

(参加者)

食品残渣をたい肥化するアイデアについて

- ・ その土地で出る食品残渣に特徴がある。旭川は少量多品目で野菜は35品目ある。
- ・ 家畜の飼料にして、旭川のブランド牛・豚の誕生につながるのではないかな。

(参加者)

- ・ スーパーからの廃棄物が大量に集まっている。
- ・ 種類ごとに廃棄物を分別している。
- ・ 再利用するにはお金がかかる。

### まとめ～愛される食～

- ・ 旭川の野菜は多品種で低価格
- ・ 買物公園を中心とした展開
- ・ 旭川産の食材の付加価値を上げる
- ・ 食べ方・楽しみ方・おいしさの秘訣
- ・ 情報発信するメディア
- ・ こどもたちに「大人って楽しそう」と思ってもらえるまち